



今回の図書館だよりでは、メラニー先生へのインタビュー、教育実習の先生からのおすすめの本、図書委員広報係からのおすすめの本を紹介しています。さて、先輩でもある実習生の先生方とお話できましたか？ 短い期間でしたが、ありがとうございました。そして、『メラニー先生にインタビュー』では、メラニー先生のお父さんの戦争体験を聞かせていただきました。とても貴重なお話なので、しっかり読んで欲しいです。また、図書委員からのおすすめ本は、夏休みの読書の参考にしてください。ボランティアの本の紹介もしていますので、ボランティアに参加してみてください。夏休みを楽しんでくださいね。

メラニー先生にインタビュー



5月11日(木)6限目、図書館でメラニー先生のお父さんの戦争体験について聞かせていただきました。ご本人ではなく、メラニー先生が間接的に話されることを了承して欲しいとのことでインタビューが始まりました。

メラニー先生のお父さんは、1932年11月15日生まれ、フィリピンのガビテ出身です。1941年から1944年の間、9歳から11歳の頃の戦争体験の中でも印象に残っている4つの体験とメラニー先生がお父さんから学んだことを聞かせてもらいました。

【父の証言1】戦争によって勉強をする時間を奪われたことをとても悔しく思っていた。だから、戦争が終わった後、一生懸命勉強をしてアメリカで奨学金をもらい、一生懸命勉強をして博士号を取り、オーストラリアで海軍のインストラクターという仕事をするようになった。

【父の証言2】満足に食べるものが無かったので、父からは「食べるものがある時はしっかり食べなさい」と言われていた。ある日の食事中に日本兵がやって来たため、あまりの怖さに食べ物を置いて逃げてしまった。今度いつ食べられるか分からないし、食べ残しはするなという父の教えに背いたので、その時初めて親にスリッパでたたかれた。

【父の証言3】日本兵が長く大きい銃刀を持って現れたため、山に逃げて、ずっと隠れていた。そこでも食べるものがなく、キャサバを探して掘って食べていた。飢えていつ死んでもおかしくなかった。

父が「食べられるときに食べておかないといけない」と言ったことは正しかった。親の言うことは聞くべきだと思った。

【父の証言4】父の兄弟である、おじさんの家に隠れていた時、たくさんの兵がやってきて、おじさんを家から道にひきずり出し、ひざまずかせた。おじさんの奥さんは9ヶ月の赤ちゃんを抱いていて、おじさんもおばさんも涙を流していた。自分は、まだ小さかったのでおじさんやおばさんが泣いている理由がわからなかった。そして、そのおじさんは、家に帰ることはなかった。

メラニー先生のお父さんは、この体験を子どもたちに話をする度、次のことを確認するそうです。

- ①勉強は大事なのでしっかりすること。
②親の言うことや教えはきちんと守ること。
③家族がいつ離ればなれになるかわからないから、一緒にいる時間を大切に、家族、兄弟、姉妹は仲良くすること。

メラニー先生が自立して日本に滞在している現在、お父さんは、戦争で怖かった日本や日本人の印象が変わったそうです。それは、2021年に来日した際、メラニー先生の日本人の友だちが自分も寒いのに服やブランケットを貸してくれ、優しくしてもらったのがきっかけでした。日本に対する間違っただけの印象を持ち続けていたことについて、「戦争がそうさせた」と言っているそうです。

メラニー先生には、お父様に何度も連絡をしていただき、お手数をおかけしました。貴重なお話をありがとうございました。そして、このような場を設けていただいた藤井先生に感謝申し上げます。(文責：丹羽)



教育実習の先生と図書委員からのお勧め本紹介

北田茉莉先生(保健体育科)

『井端弘和の遊撃手「超」専門講座』 井端弘和著

この本は、ゴールデングラブ賞を7回獲得した元プロ野球選手の井端弘和さんが、遊撃手の奥深さを知ってもらうために書いた本です。井端弘和さんがプレーの中で大切にしているポイントを、文と写真で分かりやすく記載されています。

又、動きだけではなく、何を考えて守備に向き合っていたのか、チームの中でのショートというポジションの重大性が伝わってくる本です。私自身以前は、本を読むことは苦手でした。しかし、興味のあるものから読書をする様になり、自分の知らない事にたくさん触れることができるのが読書だと感じました。野球好きな人は是非読んでみてください！



中島裕希先生(地歴公民科)

『日本国紀(上)(下)』 百田尚樹著

大学の先生に日本史でおすすめの本を聞いた際に紹介されて読んだ本です。日本の古代から平成までの歴史的な事実や逸話、歪曲、捏造などが書かれており日本史の通史をコラムと共に楽しく読むことができます。

今まで読んできた日本史の本の中ではとても面白いと思いました。作者が右翼なので、保守的な内容になっています。(上)(下)とページ数が多いですが、内容が面白く、新しい知識を増やすこともできるので日本史の勉強におすすめです。ぜひ読んでみてください！



図書委員 若山瑞希

『あの夏が飽和する。』 カンザキイオリ



これは、ある二人の逃避行が始まる物語です。

舞台は数年後、死んでしまった少女の恋人だった少年は、かつての恋人にそっくりな少女に出会います。何度読んでも感動が止まらない、そんな本なので是非皆さんも読んでみてください。

他に『最愛なるあなたへ』始め、おすすめの本がたくさんあるのでぜひこの著者の本を読んでください。

図書委員 山口蒼空

☆漫画で学べるLGBTQ☆

『性別モナリザの君へ。』(全10巻)

この漫画の世界では12歳を迎える頃自分がなりたい性へと体に変化していく作品で主人公のひなせは18歳を迎えても性別が変わらずにいた。そんな時幼馴染のしおりとりつから告白されて…。という物語です。周りがどう思おうと自分の好きな姿になっていい。性別に悩んでいる人におすすめの作品です。ぜひ読んでみてください



図書委員 木下結菜

☆子ども食堂とSDGs☆

ボランティア同好会で、子ども食堂に行ってきました！

子ども食堂は、SDGsの1番の貧困をなくそう、2番の飢餓をゼロに、3番のすべての人に健康と福祉を、に関わりがあります。SDGsにとっても密接に関係している子ども食堂です。関連する本をぜひ読んでみてください。そして、子ども食堂のボランティアにも参加してみてください。

